

第6回多摩区区民会議

日時 平成28年1月29日（金）18：00

場所 多摩区役所 6階 601会議室

出席者：委員・・・安倍修司、荒井精一、石橋吉章、岩野正行、国保久光、小塚千津子、
近藤清、末吉一夫、杉下祿郎、高橋謙一、辻野勝行、戸高仁子、
配島裕美、原田弘、細埜隆己、矢野久喜、山下宏子、余湖英子

：参 与・・・河野参与、露木参与

：区役所・・・中村区長、小松副区長

区民サービス部：吉田部長

保健福祉センター：佐藤副所長

道路公園センター：布川所長

総務課：川田課長

企画課：日向課長、井川担当係長、飯塚担当係長

三枝職員、澤野職員、木野田職員

傍聴者：なし

第6回 多摩区区民会議

日 時 平成28年1月29日（金）午後6時

場 所 多摩区役所 6階601会議室

午後6時開会

1 開会挨拶

事務局 皆様、本日はお忙しいところ、また、寒くて雨も降っている中、御出席をいただきましてありがとうございます。それでは、第5期多摩区区民会議の第6回区民会議になります。開会の御挨拶と議事の進行につきまして、石橋委員長にお願いしたいと思えます。石橋委員長、よろしくお願ひいたします。

石橋委員長 皆様、こんばんは。司会からありましたように、寒い中お集まりいただきましてありがとうございます。天気予報が当たっているようで当たっていないようで、もっと早くから降るのかなと思っただけで遅れて、このまま降るのが遅れてくれればありがたいなとは思っているんですが、どうも帰るころはちらほらと白いものになるのかなというふうな気がしておりますが、きょうは、ひとつよろしくお願ひいたします。

では、議事に入る前に資料等の確認を事務局からお願ひいたします。

事務局 それでは、資料の確認に先立ちまして、本日の会議の公開等について御説明をいたします。

本会議は、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき公開の対象となっており、会議録の作成が義務づけられておりますことから、集音用のマイクを設置させていただいております。また、報道席と傍聴席も設けておりますので、あらかじめ御了承ください。さらに本市の記録及び広報用として会議の様子を写真撮影させていただきますので、併せて御了承くださいますようお願いいたします。

それでは、資料の確認をさせていただきます。初めに、本日の次第がございます。次に、資料1といたしまして第5期多摩区区民会議委員名簿がございます。次に、資料2といたしまして本日の座席表がございます。次に、資料3といたしまして「人・まち・わづくり部会」まとめ（素案）がございます。次に、資料4といたしまして「多摩区の魅力いきいき部会」まとめ（素案）がございます。次に、資料5といたしまして第5期多摩区区民会議スケジュールがございます。最後に、資料6といたしまして区民会議ニュース第3号がございます。それから、総合企画局からプロボノという取組の広報用のチラシをいただきましたので、本日配付させていただきました。よろしくお願ひいたします。

以上が本日の資料及び参考資料となりますが、過不足等がございましたらお知らせください。後ほど足りないことにお気づきの場合は、事務局にお申し出ください。よ

ろしくお願いいたします。

石橋委員長 資料の過不足等はありませんか。

では、ないということで、本日の出欠状況について、事務局から御報告をお願いいたします。

事務局 本日は、田澤委員、藤原委員から欠席の御連絡をいただいております。現在御出席いただいている委員の人数は18名となっております。以上、御報告いたします。

石橋委員長 では、これから議事に入りたいと思います。

本日は、事前に資料の配付でお知らせしましたとおり、提言の取りまとめに向けて、まず最初に、部会に分かれて審議と意見交換をしていただきます。その後、全体会に移り、各部長から審議結果を御報告いただき、また全体で意見交換等を行いたいと思います。いよいよ3月には提言を区長に報告するということとなりますので、そういう意味では、きょうのこの区民会議と2月に行われる各部会が非常に大切な場となります。そのことを受けながら、きょう、これからぜひとも活発な審議をお願いしたいと思います。一応部会での時間は目安といたしまして50分を予定しております。時間につきましては、審議状況によって柔軟に対応していきたいと思います。

それでは、十分な審議のほどをよろしくお願いいたします。また、事務局のほうから補足がありましたら、よろしくお願いいたします。

事務局 それでは、本日、これからの審議について御案内をいたします。これから部会に分かれて審議をいただきます。事務局から2名ずつ各部会に入らせていただきます。それから、参与におかれましては、各部会の隅に椅子を御用意させていただいておりますので、こちらをぜひ御利用いただいて、部会の審議のほうをお聞きいただければというふうに思っております。それから、行政職員におきまして、各テーブルを自由に回っていただいて、審議の状況を聞いていただければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

石橋委員長 では、各部会、審議のほど、よろしくお願いいたします。

2 議 事

(1) 調査審議のとりまとめについて

- ・各部会毎にとりまとめの方向性について検討、確認
- ・各部会からの報告、意見交換

石橋委員長 では、おそろいになりましたので、各部会からの報告と意見交換に入りたいと思います。

では、最初に、「人・まち・わづくり部会」から報告をお願いいたします。

小塚委員 「人・まち・わづくり部会」まとめ（素案）ということで、資料3を御覧ください。審議の方向性とテーマとして、課題①というところで、これまでも区民会議で

はコミュニティをテーマに調査審議を行ってきましたが、非常に難しいテーマのため、具体的な成果が見えにくかったということで、防災活動を通じたコミュニティづくりというところでまとめています。審議のテーマとしては、日ごろの住民をつなぐ取組が減災につながるということです。

次のページを見ていただいて、「日頃の住民をつなぐ取組」について知るということで、町内会・自治会さんにヒアリングしています。あとフォーラムの意見交換とフォーラムのシール投票ということです。

3ページ目を見ていただくと、各自治会の様子が載ってまして、長沢自治会と宿河原町会というところ、あと生田団地自治会と登戸台和町会と大作自治会というところで、それぞれヒアリングとふだんの様子ということでいろいろなお話を伺っています。

次の6ページの区民会議カフェというところで区民会議フォーラムの意見交換をしていまして、近隣の人と顔見知りになる上で困っていることと機会の少なさとアプローチの難しさについての意見が目立ったということで、シール投票の中でお話をしています。

テーマ2ということで、近隣の人と顔見知りになるために行っていることということで、挨拶などの日ごろの心がけということと地域活動への参加が有効との意見ということでお話を伺いました。

その投票の結果ということで、自治会と町内会への加入に関するシール投票もしていただいています。投票数としては、入っている人は、御近所と親しくなりたかったからということで、みんなが入っているからというのがやはり一番多くて、311人ほど投票していただいています。入っていない方に関しては、きっかけがないからということと知らないからというのが投票としてやっぱり多かったです。126名ということでした。生田緑地のほうでやったんですけども、多摩区以外の方もかなり多くて、埼玉とか、かなり遠くの方も多かったです。

次のページをめくっていただいて、提言のとりまとめに向けた考え方の整理ということで、町内会・自治会では、考えていた以上にさまざま取組が行われているということと、区民カフェの中では、近隣の関係づくりや、町内会・自治会への加入に関して、「きっかけ」や「情報」のなさを指摘する意見もありましたということでした。

これまでの調査を踏まえて、いざというときに自分や家族の命を守るために、向こう三軒両隣の大切さをいかに多くの人に知ってもらおうかということが重要であるということとまとまってきました。向こう三軒両隣の大切さを知ってもらうための取組について今考えております。

何か補足があったらお願いします。

国保委員 今部会長さんがおっしゃったことがほとんどですが、できるだけ自治会、町内

会との話し合いとか、区民カフェの意見とか、いろいろ意見を集約しまして、ずっと私も思っているんですが、できるだけ区民会議のほうからしっかりとした提言みたいなものを出さなくちゃいけないというふうに思っていて、これらの意見を実際の資料の中から私たちが作り出してということを提言にまとめると。それはある程度インプレッションが強いものをつくらないといけないかなというふうに思っております。

石橋委員長 御報告、どうもありがとうございます。では、ここから全体での意見交換ということで、皆様から御意見をいただきたいと思えます。

では、私のほうから、これからの作業というのほどが焦点になって進められるのでしょうか。

小塚委員 提言の後の考えられる取組というところを見ていただきたいんですけども、10ページですね。今、このいただいた時間の中で、皆さんとちょっとお話をしていたんですが、まずキャッチコピーを話し合えようということと、各代表、区民会議の代表の方はそれぞれの組織から来ているので、その中でできることもちょっと考えようという話が出ました。その中で、次回の話し合いの中で、キャッチコピーは「向こう三軒両隣」なんですけれども、その中で大切さの話をしながら提言に向けてということで、10ページの考えられる取組をどういうふうに取り入れていくかということをお話していきたいと思っております。

石橋委員長 では、「人・まち・わづくり部会」の部会員の方から補足はありますか。皆さん、御意見は何かございませんでしょうか。

では、ないようですので、今の方向で提言に向けて審議をお願いしたいと思えます。

では次に、「多摩区の魅力いきいき部会」につきまして、杉下部会長、よろしくお願いたします。

杉下委員 部会長ですけれども、この部会、皆さんメンバー全員が部会長みたいなもので、私は皆さんの意見をまとめるということもあまりできていないような気がします。

今お話できるのは、内容的には全く変わったことはないと思えます。報告書のきょうお手元に届いているもので変わっていない。ただ、扱いがいろいろと変わりました、区民会議フォーラムでいろいろ出た、それから区民会議フォーラムをやったということはもう少し大きく扱うべきではないかということで、なるほどということで、皆さんの賛意を得て、そういう編集になっていくこととなります。

それから、神戸の学習をしたということで、神戸の情報がいろいろ3ページぐらい細かく出ているんですが、これは勉強したんだから、もうそれでいいじゃないかということで、全く100%カットしてしまおうかという話も出ているぐらいなんです、も

しかしたってもっと文字とか写真を小さくして、データとして後ろのほうに載せようかということになるかもしれません。

それから、報告書の最後のページ、16ページのところに、多摩川音頭とかいろいろそういうことについて触れていますけれども、これは検討して、すてきな提案にまでは行き着かなかったけれども、何とかしたいねということで、皆さんで結構話し合いをしたことなので、前に持ってこようと。資料みたいなどころではなくて、これはあくまでやっぱり提案だと。ただ、建設的提案にまでは行き着かなかったのは残念だなという印象はあるんですけれども、これは前に持ってくるということになりました。

それから、いろいろと——いろいろというほどじゃないんですけれども、単語としてプラットフォームとかデジタルサイネージとか、ややあまり耳ざわりというか、耳なれない言葉の人もいると思うんですね。ですから、これについては扱いをちょっと注意しよう。このまま使うようであれば、説明をちょっと下のほうに入れるとかいうふうにしないと、小さなことですが、片仮名語が多過ぎるよとかいう苦情が出るかもしれない。やはり最終的に私どもの会では映像を扱って、今までのPRの方法とは違った、もう少し今風な形でやっていこうというのが結論になりまして、そのサンプルを今つくっていただいているところなので、この次の最終回では、それを皆さんに見ていただけるということになっています。それをさらにいろいろと展開していこうというのが私どもの結論ですので、それについては、多摩区の魅力ってどんなことがあるかね、どんなものを持っているかねといろいろとあるんですけれども、それを今一々取り上げてもしようがないので、そういう方向でデジタルということが今回の結論になったということをお報告して、細かいことの説明はなくてもいいと思います。

ただ、1つ忘れまして。駅周辺についてももう少しきれいにしたいねと。これは多摩区の入口なんだから、もうちょっと何とかしたい、なるのではないかとような提案がありまして、これはかなり部会に最初のほうから話としては活発に出てきたんですけれども、残念ながら大事なことだということまでで、それじゃ、具体的にどういうふうにしようというところまでは行き着かなかったので、資料ではないけれども、そのタイトルを何とするかというのはまだちょっと宿題にしようということです。ただ、資料ではない、これは提案と言ってもいいけれども、提案まで行き着いていないから、じゃ、どういう表現にしようかということで、きょうは残念ながらちょっと宿題になってしまいました。

ということでいいかと思うんですが、ほかの部会員の方からいろいろと助けていただける意見が出ると思いますので、矢野さん、辻野さん、荒井さん、いろいろ少しつけ加えてください。よろしくお願いします。

矢野委員 それでは、きょうの審議の経過というのは、今、部会長が御説明されたとおりの

でして、私はつけ加えるとしますと提言の具体的な内容についてなんですけれども、12ページでプラットフォームの運営－区民参加による実行委員会等の立ち上げ－というのを提言しております。これは多摩区の魅力をどうアピールするかということについて、結論としては、動画でインターネットの発信媒体を使って、SNS等で広く情報発信していこう、魅力を発信していこうというのが提言なんですけれども、それを実現するための組織として、実行委員会等を区民会議の外側、多分来年以降になると思いますけれども、外側につくって、市民団体に参加していただいて、あるいは検討したメンバーも入るんだよとここに書いてあるんですけれども、で立ち上げて運営をしていこうというのが提言の内容でございます。実行委員会をやって、ちゃんと自分たちでやろうよねというところが特徴かと思います。

あと補足はありますか。

辻野委員 特に補足ってないんですけれども、要は、わかりやすくいえば、多摩区の魅力の掘り起こしということで情報の発信、第1点は、多摩区の顔づくり、ブランド化をどうするか。第2点は、そのための仕掛けづくり、仕組みづくりをどうするか。それと第3点は、そのための具体的展開は何かということが7ページ以降にして、そのポイントは映像化をしようということ。映像化によって徹底していくために、映像化の手法は、実行委員会をつくったり、あるいはプラットフォーム、いろんな形で、区民を巻き込んだ映像化の手段を使おうというような形で提言をまとめていくのが、我々の部会の最終的な結論になっているかと思います。ひとつ期待してください。よろしくをお願いします。

石橋委員長 では、そのほか部会員の方から御意見はありますか。

荒井委員 資料3のほうで、区民会議フォーラムの位置づけが2ページ、ページ数が落ちていきますけれども、2ページのところにきちんと入って、こういうところで意見をいただいたということがはっきり出ているんですけれども、魅力いきいき部会……。

石橋委員長 済みません、2ページではなくて……

荒井委員 2ページです。ページ数が抜けているんです。

石橋委員長 2ページは審議テーマの絞り込みのところがいいんですか。

荒井委員 済みません、資料3のほうです。

杉下委員 「人・まち・わづくり部会」のほうの……。

荒井委員 それの2ページですね。

石橋委員長 済みません、資料3の「人・まち・わづくり部会」のほうの資料の2ページ。

荒井委員 ページが落ちていきますけれども、2ページ、このところに、要するに区民会議フォーラムについては位置づけがきちんと出ているんですね。魅力いきいき部会についてはその位置づけがないまま、5ページのところに区民会議カフェともう一つ

がシール投票という形が出てきまして、流利的にすっきりしていないので、両方の部会で区民会議フォーラムの位置づけをしていただいたほうがいいという意見が出たんですけれども、「人・まち・わづくり部会」のほうでこういうふうに出ているので、魅力いきいき部会のほうも何かその辺のところを入れていただくような形でもいいのではないかなというふうには思いますね。

石橋委員長 「人・まち・わづくり部会」と「多摩区の魅力いきいき部会」で区民会議フォーラムの紙面構成をある意味では同じようにと。なかなか内容まで一緒にはできないとは思いますが、すけれども。

荒井委員 されたほうがいいのではないかと。

石橋委員長 編集の仕方によろしいですか。

荒井委員 そうしないと、ちょっと出てきた、いきなりこの区民会議カフェと6ページのシール投票というところが4ページの(4)でくくられていまして、余り意味がよくわからない構成になっているものですから、その辺は、さっき打合せをしている段階では、要するに区民会議フォーラムを一つのくくりとして、全体としてこういう流れでやったということをごどこかに入れるという話があったんですけれども、それだと入りにくいと思いますので、ちょっとその辺を工夫していただければというふうに思いましたので。

石橋委員長 そのことも含めて次回の部会の中で、事務局のほうでまた素案をつくられるとは思いますが、大丈夫ですか。大丈夫ですかと聞くのもおかしいけれども、そういうふうにしたつくりでつくっていただければと思います。ある意味では議論がしやすいように、審議しやすいようにしていただければと思います。

事務局 そうですね。きょうは、それぞれの部会に事務局が分かれて座っておりましたので、この会議が終わった後に意思統一を図って、資料はまとめて次回の部会までに御提示したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

石橋委員長 「多摩区の魅力いきいき部会」についての今の御報告で、皆様、ほかの方は御質問ございませんでしょうか。

ないようですので、本日の各部会の報告というところはこれで終わりにさせていただきます。

(2) その他

石橋委員長 その他に移りまして、委員の皆様からほかに何かございませんか。

先ほど「多摩区の魅力いきいき部会」のほうで、今までも映像をつくっておられるということで、これの試写会が2月26日の14時、場所は……。

事務局 場所は6階の防災事務室を予定しております。

石橋委員長 2月26日14時、この階の防災室か。

戸高副委員長 何階ですか。

石橋委員長 この階になります。

事務局 こちらを出て右手のお部屋になります。

石橋委員長 ここを出て右側にあるところで、2月26日14時から試写会がありますので、皆さん、御都合のつかれる方は「人・まち・わづくり部会」の方もどうぞ御参加していただければと思います。

事務局 改めて御案内のほうはさせていただきますので、よろしく願いいたします。

杉下委員 入場無料です。

石橋委員長 入場無料というのがありますか。無料だけ聞こえて、頭が聞こえなかったの
で、済みません。2月26日です。

事務局から何かございますか。

事務局 特にございません。

3 報告

区民会議フォーラム及び区民会議ニュース第3号について

石橋委員長 では、そのほかに、きょうの資料の中で報告という形で区民会議フォーラムと区民会議ニュースについて、事務局から御報告をお願いいたします。

事務局 それでは、お手元にごございます黄色い色紙の資料6を御覧ください。こちらが区民会議ニュース第3号となっておりますので、併せて御説明をさせていただきます。

昨年11月3日、文化の日に、生田緑地、かわさき宙と緑の科学館2階学習室をメイン会場として区民会議フォーラムを開催いたしました。初めて区役所から外へ出での開催ということでございます。大変天候にも恵まれまして、50名の方に入場、御来場をいただきました。

メインの取組としては、区民会議カフェ（意見交換会）がございまして、さらにメイン会場の外では、大変委員の皆様にご活躍をいただきましてシール投票を行いました。大変多くの皆様にご活躍をいただきまして、資料の上のほうにもございまして、延べ1673票もの票をいただいております。

意見交換会での御意見については、先ほど皆様にご審議いただいた資料でも御紹介しているところでございますけれども、各部会で記載の御意見をいただき、これを踏まえて、その後の審議にも生かしてきたところでございます。

区民会議カフェ（意見交換会）に先立ちまして、裏面にごございますとおり、多摩区の初代観光大使の桂米多朗氏をお招きして、多摩区にちなんだ落語の公演をいただきました。古典落語を多摩区バージョンに変えて御披露いただきまして、大変興味深いお話をいただいたところでございます。

それから、「人・まち・わづくり部会」の審議テーマが「日頃の住民をつなぐ取組が減災につながる」ということで、それにちなみまして、起震車を会場の外に置きまして起震車の体験会、こちらは大変多くの方に御参加をいただいて、盛況のうちにフォーラムは終了したということでございます。

フォーラムの御説明については以上でございます。

それから、この資料、ニュース第3号につきましては、既に皆様には部会でもお配りしているところでございますが、昨年末、12月の末に、各町内会・自治会様に合わせて合計6000部ほど配付させていただきまして、回覧のほうを御協力いただいたところでございます。

石橋委員長 どうもありがとうございます。では、きょうは次第に従いますと滞りなく進んでおります。

4 閉会挨拶

石橋委員長 では、閉会の挨拶ということで、戸高副委員長お願いいたします。

戸高副委員長 きょうは、皆様、お寒い中、御出席ありがとうございました。それぞれの部会で具体的に提言をまとめるための討議がなされまして、ここで報告をいただきました。「人・まち・わづくり部会」のほうはもう一つ具体的なところで、まだまだ皆さんと話し合っていたきたいと思っています。政策提言までに、どうぞ皆さん、これからもよろしくお願いいたします。

石橋委員長 では、続きまして、お忙しい中、貴重な時間を割いて御参加していただきました参与の方々から御感想なりをいただきたいと思います。

では最初に、河野参与。

河野参与 皆さんこんばんは。参与をさせていただいております河野ゆかりです。足元のお悪い中、本日もたくさんの方が区民会議に参加をされまして、闊達な意見討論会がされていて、本当に皆様方のこの多摩区のためにという思いを、その情熱をすごく感じたところであります。

それぞれの部会において提言に向けて今テーマ、「人・まち・わづくり部会」からの提言というのが、いざというとき、自分や家族の命を守るために向こう三軒両隣が大切であるという誰しもわかっているだろうと思うことが、やっぱり呼びかけ続けることが大事だなというふうに強く感じたこと。

この1月、実は菅地域で大きな火災が発生しました。出初め式が終わったその深夜帯なんですけれども、私も深夜、友人から連絡が入って、1時半ぐらいに現場へ行ったんですけれども、そのときには、そのお隣さんがぱちぱちという音と煙で気がついて、その方はその日の出初め式に参加をされていて、ちょうど消火器の使い方をやった。もう実際やったところだったのでということで、御近所に呼びかけて、皆さんに

消火器を持ち出してもらって、ちょうどその商店街の中でも呼びかけて新しい消火器を導入したところだったということで初期消火も。でも、大きな火事だったので、なかなか木造、燃えたんですけれども、当初は、その方、高齢者の方で、意識不明の重体だったんですが、早い処置がされていたということで助かれて、今元気になられたんです。

やっぱりお隣近所のこのつながりというのは、その方も再度大事だということを知り、すぐ隣だったので、このまま皆さんと一緒に自分の呼びかけに応じてくれなかったら、密集地だったので、自分の家も燃えていたかと思うと恐ろしいことだったというふうにお話をされていたんですが、もちろん町会に加入しながら地域活動に参加をして、お隣近所と知り合っていくということも大事ですし、この向こう三軒両隣が大切だという呼びかけを何かの形でずっとしていただくことはとても大事だなというふうにも感じました。

また、この「多摩区の魅力いきいき部会」からの提言の検討ということで、多摩区の魅力を掘り起こし発信する。まだまだ知られていないということを感じたのは、昨年12月10日に専修大学の3年生がプロジェクトでいろんなグループを組んで発表されるという場に行かせていただいたんですが、1つは、大学生が中心になって、ことしから始める川崎市のごみの分別アプリをつくったと。そこで聞いたら、でも、現実、自分の住んでいるところが何曜日に何、どこにどんなふうにいるというのは実は知らないんだという学生さんの声だったり、あとまた、あるグループは、この多摩区の魅力をとということで写真をつくって、ここにもありますようにSNSを活用した何かをつくられていたんです。結局、今、昔というのをやりたかったけれども、昔の写真はどこに行けばどの程度入手できるか。実はばら苑の前がブースカランドだって、あそこにブースカがいたというのが欲しかったんだけど、入手ができないまま終わりましたなんていうふうにおっしゃっていたんですが、自分たちの若い目線で、できれば商店街とかに入り込んでこういうことができたらというふうには、ある学生さんがおっしゃっていたので、では、区役所に行けば、それぞれの商店街の会長さんを教えてもらえるとと思うので、ぜひお声がけをされると喜ばれると思いますよというふうには声をかけてきたんです。本当にまだまだ知られていない多摩区の魅力がありますし、知っていけば、多摩区に住んでよかったというふうになっていくかなと思いますので、今回の皆様方のこの審議がよりよい提言になるようにというふうに感じております。

本日も大変にありがとうございました。

露木参与 どうもこんばんは。露木明美でございます。なぜかいろいろ都合が重なって、大変久しぶりに参加させていただいたなという感じで、きょうはもう審議がこれほどまでに進んでいるのかというふうにはちょっと驚いたところでございます。間もなく報

告もまとまっていくんでしょうか、本当に熟していると思います。皆様の多摩区に寄せる愛というものを非常に感じました。

両方の部会の中で、私は人・まちのほうをきょうはちょっとお聞かせいただきましたけれども、町内会・自治会の参加を促そうということもあったと思うんですが、やっぱり多摩区って全市の中で一番町会加入率が低いんですよ。町内会加入率が70数%ということで、これは大学に通う学生さんが単身でいらっしたり、また、ワンルームマンションなどを中心として単身者の方が多い地域だということも、そういう特徴もあるんですけれども、それだけではない、やっぱりどうやったら加入率を上げられるのかな。また、加入率さえ上げればいいのかなということもちょっと指摘があったんですが、やっぱりまずは入ろうよと。ごみの問題だったり、地域のつながりであったりというので、入ろうよと呼びかけることが積極的にテーマになっていたんじゃないかと思います。

転入転出を受け付ける窓口でパンフレットを配る中でという話があったので、私は6月の議会だったと思うんですけれども、昨年4月から町内会・自治会活性化条例というものが川崎市でも発効されましたから、どのようにそれを進めるのかということも質問したんですけれども、やっぱり区によって結構違うんですよ。多摩区ではない区は、その転入の窓口で、あなたはどこの町会ですよというところまで教えてさしあげて、ここに行くと言員に会えますよというところまでの情報も提供するというふうな区がありまして、そういう具体的に本当に丁寧な対応や、またパンフレットもつくっているということで、本当に地道にこつこつとやっていく。

そして、今回、パンフレットをもっと更新していいものにしていこうかという話もあったと思うし、また、町内会云々の書いてある市政だよりも年に1回発行されますよね。それを手配りということだったり、また、持って行って呼びかけるとかいろいろ話がありましたので、間もなくまとまる報告が楽しみです。具体的に進んでいくんじゃないかというふうに期待しています。

また、「多摩区の魅力いきいき部会」のほうでは映像で発信していく、すばらしいと思います。今までそう思っていながらなかなかできていなかった部分があると思います。これから川崎市も分権化が進んでいくということで、区独自の動きも進められようとしている時期ですから、多摩区はこれをやるんだといって、予算をしっかり配分してもらって、映像をつくって発信していくということを強く強くこういった区民会議で提案すれば、多分役所の皆さんもしっかりと要望してくださると思うので、期待しておりますから、それぞれの部会、活発に進んできたことを、きょうは確認させていただいてよかったと思います。

きょうは、御苦労さまでございました。

石橋委員長 ありがとうございます。

ちょっと司会の失敗が1つありました。最後に、区長の挨拶の前に、事務局から資料5の説明をしてください。これを忘れていました。スケジュール。

事務局 済みません、今どこで御説明しようかと考えていたところで、ありがとうございます。それでは、スケジュール、残りわずかではございますけれども、御説明いたします。

本日、1月29日が第6回の全体会議でございまして、このフォーラムの欄に記載をしておりますけれども、来週、2月3日に市全体の区民会議の交流会がございませぬ。御出席の委員の皆様には既に御案内しているところでございますけれども、よろしくお願ひいたします。

それから、魅力いきいき部会につきましては、次の部会が2月15日、魅力映像を今制作しているところでございますけれども、撮影は2月9日を予定しております。それから試写会として、先ほど御案内いただいたとおり、2月26日金曜日を予定しております。

人・まち・わづくり部会につきましては、次の部会、12回の部会につきましては、残念ながら雪の影響で中止とさせていただきますので、次は13回となりますけれども、2月23日、いずれもこの最後の部会で、先ほど御意見いただいたものを踏まえて資料を詰めていきたいと思っております。

それから、3月に入りまして、第6回の企画部会を3月9日、ここで最終報告書の形を企画部会の皆様にお示しして、最後の報告会、全体会の中に持っていきたく思っております。最後、3月30日に第7回の全体会、こちらで委員長から区長に提言書をお渡しいただく形で、こちらでも制作した魅力映像をお流ししたいというふうに思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

それから、最後の報告書の概要版としてニュースの第4号を3月末に発行いたします。また改めて町内会・自治会の皆様には御協力をお願いしたいというふうに考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

スケジュールの御説明は以上でございます。

石橋委員長 どうもありがとうございます。

では、最後に、済みません、区長、お願ひいたします。

区長 皆さん、こんばんは。きょうは、大変寒い中、また足元の悪い中御出席いただきましてありがとうございます。そしてまた、長時間にわたり、本当に熱心な議論をいただきましてありがとうございます。先ほど参与のお2方もおっしゃっていたように、本当に皆さん、多摩区のことを愛していただいて、そして本当に考えていただいているということで、私も胸が熱くなりました。本当にありがとうございます。

私も、前回の全体会議の後、フォーラムのほうも出させていただきました。それで、特に多摩区の魅力いきいき部会のほうでのフォーラムの区民会議カフェの発言の

中で、多摩区には本当に魅力的なところがたくさんありますと。それが点で点在していて面として活用されていないんじゃないかという発言があったのを私は一番記憶に残っているというか、一番ちょっと重く感じたんですけども、やはり私も多摩区はすばらしいところですよ、こんなにいいところがたくさんありますと常々言っています。本当にそう思います。それをいかに区民の方、また区民じゃない方にもこの魅力を発信するかというのが大変重要なかと思っています。そういう意味では、今回議論いただいています中で、プラットフォームのことですか、あるいはデモ映像、こういう話は、区の魅力を発信するには大変いい手法かなというふうに思っているところでございますので、またさらに議論を重ねていただいて提言していただくことを楽しみにしております。

それからまた、「人・まち・わづくり部会」ですけれども、本当に住民の向こう三軒両隣の取組が減災につながるというようなことで、これはまさにそのとおりでございまして、皆様の中にも記憶にあるかと思うんですけども、平成26年の11月に白馬村で大きな地震がございました。そのときに54棟が全壊または半壊をしているんですね。それで多くの方がその家屋に埋もれて生き埋めになった方がいらっしゃるんですけども、亡くなった方が誰もいないということなんです。それはなぜかといいますと、この地震が起きたのが夜の10時ぐらいですので真っ暗ですよ。そういう中で地震が起きたけれども、隣近所の皆さんが、ここには誰が住んでいて、どこの部屋で寝ているというところまでわかっていて、そこの部屋をまず一目散にあけて救助したという、そういう話があります。これこそ皆さんがふだんそういうつき合いをしているから命を救うことができたのかなというふうに思います。

それで、皆さん、本当に向こう三軒両隣という話は、これはやっていくのは当然だというふうに多分思われていますけれども、これがなかなか進まないというか、今の世の中は大変これが難しくなっているというのが現実でございまして、ただ、やっぱりこれは今後の、ことしは地域包括ケアシステムの土台づくりを本格的に進めていく年でもあります。そういうことで、互助でお互いに助け合うということが大変重要でございまして。これには本当に地道に私たちやっていかなければいけないかなというふうに思っていますので、ぜひともこれにつきましても、また議論をもう少ししていただくということなんですけれども、この提言の中身を楽しみにしておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

本日は、どうもありがとうございます。

石橋委員長 どうもありがとうございます。

では、これにて第6回区民会議を終わりたいと思います。どうも皆さん、御苦労さまでした。

午後7時59分閉会